



教育委員会だより

「多日から発信！SDGs」

「誰もが輝く未来」

東原岸倉東部校 9年2組

宗田 瑞蒼 来

ふと目に留まったのは「同性婚」に関するニュース。私は「なぜ同じ人間なのに、互いに愛し合っているのに結婚できない人たちがいるのか」と考えました。

日本では現在、婚姻の自由は認められているものの「男女」の婚姻に強く縛られています。そのため、人生を共に歩みたいと思いついた相手が同性だった場合、婚姻によって法律で保証される配偶者としての立場や金銭的なメリットが受けられない現状があります。一方、海外では一九七〇年にニューヨークで始まった「レインボープライド」と呼ばれる行事が、セクシャルマイノリティのイベントとして国際的に認知され、毎年、世界の様々な都市で開催されています。このように海外では、自分の性に誇りを持ち、他の人の心を広く受け入れていこうという風潮が日本よりも大きいように感じられます。その後、日本でも「LGBT理解増進法」が国会で成立しました。性的指向にかかわらず人権を尊重し、不当な差別はあってはならない、という規定が決まりましたが、差別や偏見が本当の意味でなくなっていくにはまだまだ課題がありそうです。

性の在り方はグラデーション。くっきり分けられるものではなく、色鉛筆や絵の具で描かれた虹色のグラデーションが美しいように「私たちたちはみな、一人ひとり美しい色のあつまりである」と思うようになりました。



連載

野の仏ギャラリー ⑤

三十三体観音

北多久町湧泉寺

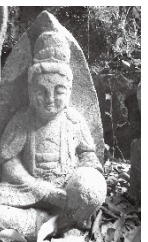
湧泉寺の側から山中に入ると、瀧の側に石仏群があります。



▲瀧観音の一部



▲阿耨観音



▲阿耨観音



▲円光観音



▲不二観音



※三十三体観音と三十三所観音(八月号・十二月号参照)の像容はすべて異なります

多久市郷土資料館長 藤井伸幸

市民文芸

人生を白紙にしたい 毎日を

希望のページで埋め尽くしたい

野崎 隆幸

喧嘩して朗々介護の毎日が

認知症にはならないのかも

梶原恵美子

桜の真白き小花 こぼれ散る

初冬の淡き 青空愛し

浦野 嘉恵

庭畑の朝露に濡れし初なりの

ナス一本を汁の実に採る

川浪 信子

丈低き剪定なれば「次季から」と

咲き初めし山茶花 見ず逝きし生徒よ

尾形 節子

山奥の 古き御堂の 冬紅葉

おおやはな

気疲れて父の背中に 七五三

本村 則子

巻き戻しきかぬ人生 石路の花

中嶋 清子

単線に妹とゆらるる 小春かな

富樫 明美

木枯の 追ひかけて来る 夕厨

武富 律子

セルフレジ金を入れると 急ぎ立てる

高塚チカ子

日捲りが 日々の生活 見てござる

田中 正春

お地藏さん あったか冬帽子 いか

井上 東子

傘寿過ぎ 足腰の自由 ままならぬ

中尾 和弘

冬の星座 天動説を 信じてる

松下 修

短歌 《麦の芽短歌会 互選》

俳句 《大石ひろ女選》

川柳 《多久川柳会 互選》